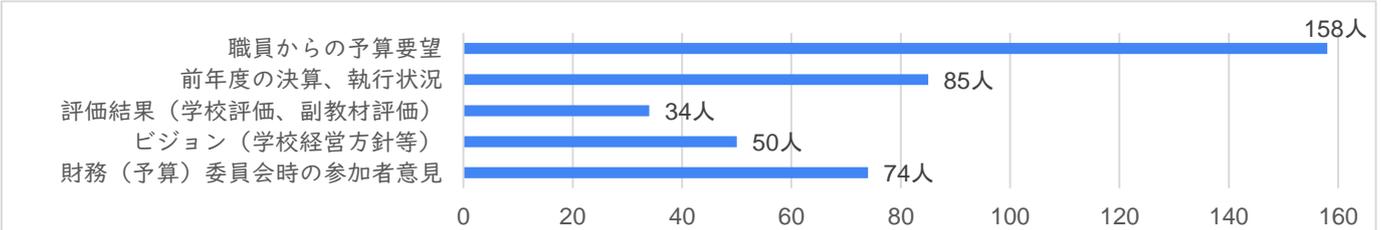


回答数

調査対象人数						196人		
回答者割合						83%		
校種別	小学校	中学校	特別支援学校	中等教育高等学校	合計			
	105人	54人	3人	1人	163人			
職名別	総括事務主幹	事務主幹	主任	主査	副主査	主事	事務員	合計
	4人	1人	8人	47人	45人	40人	18人	163人

※ 記述回答については一部抜粋しています。

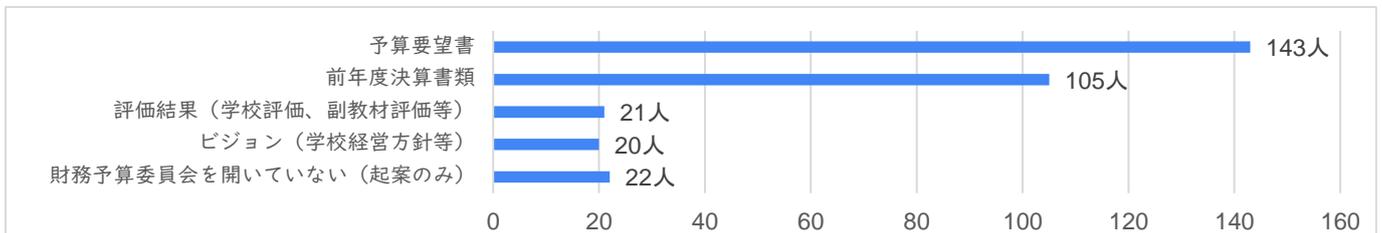
1 予算を編成する上で、重要視していることについて (複数回答)



その他

- ・過去5年間の執行状況、備品購入、修繕状況。

2 財務 (予算) 委員会に使用する資料について (複数回答)



その他

- ・予算要望書、前年度の決算書類、水道・光熱費・コピー用紙使用量の資料、施設修繕や工事の計画の資料。
- ・特別な支出が見込まれるものなどまとめた資料。
- ・予算配当案と編成に係る重点事項 (要望書をもとにヒアリング、予算配当案を作成した上で委員会に提案)。

3 財務 (予算) 委員会において上記資料を活用して良かったこと

- ・学校評価や学校経営方針に予算計画を立案する上でのヒントになるような文言を持参し、学校に対する意見や思いを共有することが大切。
- ・評価結果から教職員の思いが読み取れることが多い。
- ・要望書のみだけでなく、実際にヒアリングした材料を踏まえて案を作成することにより、委員に協議してもらう要点を絞ることができる。時間短縮・効率化だけでなく、協議内容の充実につながっている。

4 財務 (予算) 委員会について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと

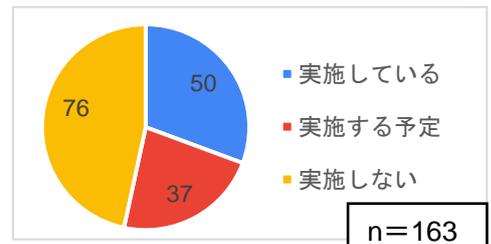
- ・同等品でより安価な物品の情報共有。
- ・副教材等の評価、購入品、金額決定などについては情報共有し、グループごとの研修も実施した。
- ・頻繁に出回らない備品の購入先や仕様書の作成方法などの情報共有できた。

5 副教材評価の実施

	総括事務主幹	事務主幹	主任	主査	副主査	主事	事務員
実施している	50人	3人 75%	1人 100%	1人 12.5%	15人 32%	14人 31%	11人 27.5%
実施する予定	37人	1人 25%			13人 28%	8人 18%	11人 27.5%
実施しない	76人			7人 87.5%	19人 40%	23人 51%	18人 45%

6 副教材評価を実施をどのように活用したか

- ・次年度の教材選定の時に使用し、副教材選定委員会での参考資料とする。
- ・次年度の選定時での活用、保護者へ周知。
- ・評価を3つに分けている。(A:良好・継続、B:一部検討、C:変更) BかCの場合は理由も記入。



7 副教材評価を実施して良かったこと

- ・評価を行い、それをもとに保護者代表へ説明することにより、学校への信用と信頼の向上につながると考える。
- ・安易な前年度踏襲を避けることができる。
- ・保護者負担軽減につながった。

8 副教材評価を実施するにあたり、困ったことや難しいと感じたこと

- ・客観的指標が難しい。あまり手間をかけないように3段階評価にしたが、主観による評価になってしまう。
- ・やり方、様式、活用方法について、自校にあっていいのか、または、正解なのか不安がある。
- ・副教材評価を始めるにあたって、先生方の業務がひとつ増えることになる。それに見合った効果が得られるか、先生方の理解を得ることが難しい。
- ・実施のタイミング。年度末の忙しい時期に評価を実施したので教職員から不満の声があった。

9 副教材評価について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと

- ・副教材評価についてグループで研修した。
- ・共同実施で提案があり、今年度所属するグループ内全ての学校で副教材評価を実施することになった。すでに実施している学校の実態を聞いたり様式を見たりしたので統一はしてないが参考になった。
- ・様式を共有した。

10 事務（管理）部について評価を実施

	総括事務主幹	事務主幹	主任	主査	副主査	主事	事務員
学校評価と一緒に実施	4人 100%		2人 28.5%	13人 29%	7人 17%	13人 32%	2人 11%
事務部単独	30人	1人 100%	2人 28.5%	7人 15%	8人 19%	7人 17.5%	5人 28%
評価を実施する予定	30人			8人 18%	6人 14%	11人 27.5%	5人 28%
評価を実施していない	56人		3人 43%	17人 38%	21人 50%	9人 23%	6人 33%

その他

- ・学校評価と一緒に実施かつ共同学校事務室で統一して実施。
- ・評価までではないが、次年度に向けて話し合いを行なった。



n=163

11 事務（管理）部評価をどのように活用しましたか

- ・自身の業績評価シートの課題設定や達成度の参考にしている。
- ・評価結果を職員に周知し、評価が低かった内容について文書を配付した。
- ・結果をフィードバックし、後期から正確な事務処理を行えるよう共有した。
- ・教職員評価シートに活用。低かった項目は、改善していくために活用している。

12 事務（管理）部評価を実施して、良かったこと

- ・職員の理解や意識が低い内容がわかった。改善点が見える。
- ・教職員評価の項目としていて結果が数値で出るので評価しやすい。
- ・気づかなかった点を再認識できたこと。

13 事務（管理）部評価を実施するにあたり、困ったことや難しいと感じたこと

- ・同じ項目を続けていると形骸化するので、予算編成方針とともに、見直しをしている。
- ・事務（管理）部経営計画に対応した評価をどう設定、収集したらいいか悩み、困っている。
- ・評価項目をずっと変更していないので、評価項目の見直しが事務職員一人の力では難しい。

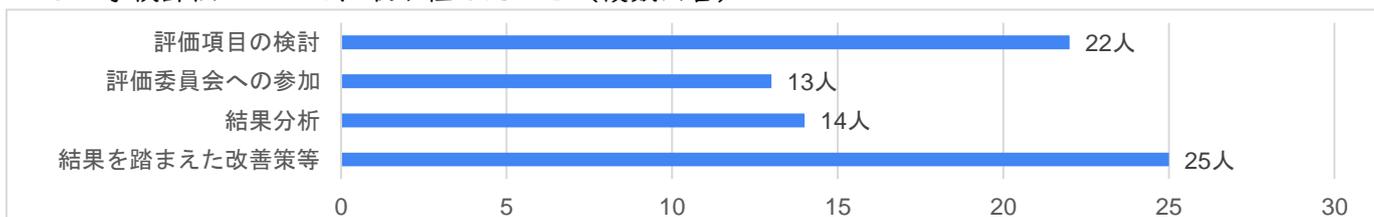
14 事務（管理）部評価について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと

- ・評価をどのように行なっているか確認。項目について情報交換。
- ・共同実施内で統一。複数人で評価項目を考えられたこと、校内で依頼しやすかったことがよかった。
- ・事務部評価は共同実施グループで統一したものを使用。各校の結果は、Googleドライブで共有。

15 校務分掌上、学校評価に関する分掌に位置付け

	総括事務主幹	事務主幹	主任	主査	副主査	主事	事務員
位置づけられている	3人 75%		1人 12.5%	5人 10%	2人 4%	3人 7.5%	
位置づけられていないが関わっている	14人	1人 25%	1人 100%	6人 13%	1人 2%	5人 12.5%	
位置づけられていない	135人		7人 87.5%	36人 77%	42人 94%	32人 80%	18人 100%

16 学校評価について、取り組んだこと（複数回答）



17 学校評価について、取り組んで良かったこと

- ・改善策を事務職員の視点から提案したり、教職員と一緒に検討したりすることができた。
- ・ハード面の整備等で解消できることや、ICTを活用した業務改善など、事務職員の立場から提案できることが見つかる。

18 学校評価について、困ったことや難しいと感じたこと

- ・保護者からの評価回収率が50%と低く、回収の工夫が必要と感じた。
- ・次に「つなげる」こと。時期的に繁忙期と重なり、どうしたものかと・・・。
- ・社会的な傾向や背景も含めて変化しているので、評価データをどのように分析したらよいか難しい。

19 学校評価について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと

- ・話題にした程度と思う。
- ・評価内容が同じものは共有し、相談もしている。

20 学校運営協議会に参加しているか。

	総括事務主幹	事務主幹	主任	主査	副主査	主事	事務員
参加している 27人	4人 100%		1人 12.5%	7人 15%	8人 18%	6人 15%	1人 5%
参加していないが、資料提供を行った 10人				2人 4%	3人 6%	5人 12.5%	
今年度参加する予定 2人			1人 12.5%		1人 2%		
今年度資料を提供する予定 1人		1人 100%					
参加していない 123人			6人 75%	38人 81%	33人 74%	29人 72.5%	17人 95%

21 学校運営協議会への参加・資料提供を行って良かったこと

- ・学校財務の外への可視化につながる。外部リソースの発掘につながる。
- ・熟議の企画・運営を任せられ、管理職と相談しながら会を重ねてきたことで、教育ビジョンに地域の考え、生徒の取り組みを取り入れることができた。
- ・学校の予算を提示したことで、予算の用途について地域と考える機会を作れた。

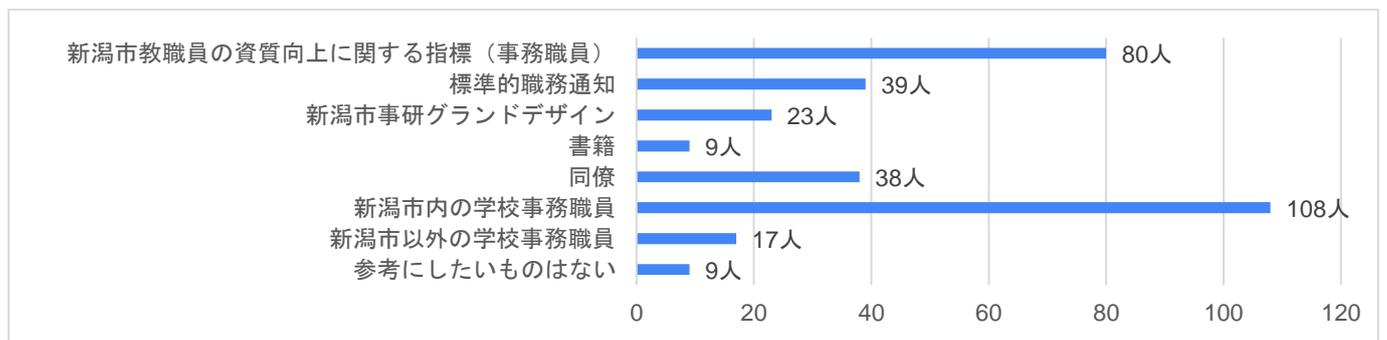
22 学校運営協議会への参加・資料提供について、困ったことや難しいと感じたこと

- ・事務職員の多忙化が進んでいると感じる中で、学校運営協議会も参加となると容量が足りないと感じる
- ・何のために事務職員が学校運営協議会へ参加するのか説明すること。
- ・小規模校では教務室が空になってしまう可能性もあるので、管理職に相談し、教員業務支援員に協力いただいた。資料は、すでに資料提供している学校のものを参考に作成した。

23 学校運営協議会への参加や資料提供について、共同実施・共同学校事務室単位で取り組んだこと

- ・次年度の学校運営協議会への参加・資料提供に向けてグループ内での活動。
- ・共同実施で参加に向けた資料共有を行っている。

24 になりたい学校事務職員像をイメージするときに、何を参考にしたいか（複数回答）



その他

- ・今までの経験。
- ・自分が現場で感じたこと。
- ・これまでの教育現場での保護者とのかわり。
- ・事務職員以外で社会で活躍している人。
- ・外部・異業種交流したとき。

※ 記述回答について一部抜粋となっています。
 記載出来なかった記述は右側QRコードで読み取り
 確認できます。

